

第五十六回
帝國議會
貴族院

競馬法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

委員氏名

委員長 侯爵四條 隆愛君
副委員長 子爵西尾 忠方君
子爵裏松 友光君
子爵鍋島 直繩君
男爵小原 駱吉君
赤池 濃君
大津淳一郎君
板谷 宮吉君
龜澤 總明君

昭和四年二月二十六日(火曜日)午前十時
三十八分開會

○委員長(侯爵四條隆愛君) ソレデハ競馬法中改正法律案ノ委員會ヲ只今カラ開キマス、先以テ政府委員ノ説明ヲ聽クコトニ致シタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ
〔「異議ナシ」賛成「ト呼フ者アリ」〕

○委員長(侯爵四條隆愛君) ソレデハドウカ……

○國務大臣(山本悌二郎君) 競馬法中改正法律案提出ノ理由ヲ簡單ニ説明申上ゲマス、競馬法ヲ施行セラレマシテ此方、出走馬數ハ年々増加イタシマシテ、五年間ニ其數ガ倍加スルニ至リマシテ、其傾向ガ益々著シイノデアリマス、依テ此狀勢ニ應ジマスル爲

ニ競馬設備ノ充實ト擴張トヲ圖ル必要ガアリマスルト同時ニ、競馬俱樂部ノ負擔力ニ相當ノ餘裕ガアルト認メマスルノデ、政府納付金率ノ引上ヲ爲スノ必要ガアリマシテ、是ガ即チ本改正案ヲ提出イタシテ理由デアリマス、改正ノ要點ヲ申上ゲマスレバ、開催日數ヲ一季ニ付キ二日間ヲ延長イタシマスコトト、法人ノ數ヲ五箇所増加イタシマスコトト、政府納付金ノ率ヲ百分ノ一ヨリ百分ノ三ニ増加イタシマス、此三ツノ點デ

ゴザイマス、開催期間ノ延長ト法人數ノ増加トハ單ニ出走馬ノ増加ニ依ル現在ノ必要ニ應ズルノミニ止マラズシテ、馬政上ノ見地ヨリ見マシテ、特殊競争ヲ適當ニ實施セシムル必要ヲ考慮イタシマシテ、馬政計畫遂行實現ノ爲ニ競馬鍛鍊ヲ爲ス必要ナル馬ノ數ヲ目標ト致シマシテ、此計畫ヲ立テタノデアリマス、又政府納付金率ノ増加ハ勝馬投票券ノ發賣ノ現狀ニ鑑ミマシテ、競馬俱樂部負擔力ノ實狀ヲ察シマシテ、改正案ノ程度マデ引上ヲ爲ス餘地アルモノト認メマシタガ爲メデアリマシテ、之ヲ以テ馬ニ關スル施設ノ經費ニ充當イタシマシテ、馬政上ノ要求ニ應ゼシメムトスルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ、ドウゾ御審

議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス
○子爵西尾忠方君 只今農林大臣ヨリ本案御提出ノ理由ニ付テ御説明ヲ伺ヒマシタガ、出走馬ノ増加及馬政計畫ノ必要上カラシテ本案ノ改正ヲ御提出ニナタト云フ御説明デアリマスガ、此前提トシテ馬政計畫ノ必要上ト云フヤウナ點ニ付キマシテハ能ク承知イタシマセヌガ、或ハドナタカラデモ宜シウゴザイマスカラシテ、詳細ナル御説明ヲ願ヘレバ幸ヒト存ジマス

○國務大臣(山本悌二郎君) 大體ノコトハ私カラ申上ゲマシテ、尙ホ詳細ノコトハ政府委員カラ御説明申上ゲタナラバ宜カラウカト存ジマス、大體此馬政計畫ハ御承知ノ通り第二期ニ入りマシテ、馬ノ國防上ノ要求、産業ノ要求ヲ充タスダケノ品質ノ改良、ソレカラ百五十万頭ト云フ頭數ノ維持、此二ツノ目的ヲ達シナケレバナラヌト云フコトニナテ居ルノデアリマス、所ガ此品質ノ改良ノ上カラ競馬ハ最も有力ナル一ツノ手段デアルト云フコトハ、私ガ申上ゲル迄モナイノデアリマスガ、唯從來ノ競馬ヲ見マスレバ、「サラブレッド」ト云フヤウナ所謂原々種トモ申スベキ馬ノ競走ノミニ大體止マッテ居ルヤウナ狀態デ、是ハ固ヨリ或程度迄ハ原々種トシテ、大イニ其増殖改良ヲ圖ラナケレバナラヌコトハ必要デアリマスレドモ、國防上ノ要求ト産業ノ要求ノ上カラ致シマスレバ、所謂中間種ト申スベキ「アングロアラブ」トカ「アラブ」トカ云フヤウナ種ヲ大イニ是カラ獎勵シテ増加改良シテ行クト云フコトハ必要デアリマスガ、是ガ今迄ノ競馬ノヤリ方デハ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデアリマス、然ルニソレハ何故サウデアアルカト云フト、「アングロアラブ」種類ニ屬スル中間種ハ、只今ノ競馬デハ到底競走ニ加ハルコトガ出來ナイ狀態デアリマス、競走ニ出走サセヤウトシテモ、出テモ速モ賞金ナドハ取レマセヌカラ、從テ出モシナイシ、出シモシナイ、斯ウ云フ狀態ニナテ居リマス、然ルニ其種類ノ馬ハナイノデアアルカト言ヘバ、馬ハ固ヨリアルノデスガ、アッテモ出得ナイ、茲ニ於テ此「サラブレッド」種ト中間種ノ「アングロアラブ」種類ノモノトノ競馬ニ出走スル頭數ヲ三千頭ト見マシテ算盤ヲ立テマシテ、サウシテ之ヲ出走セシムルニハドレダケノ設備ヲ要スルカ、斯ウ云フ計算ヲ立テマスノデアリマスガ、現在ノ競馬ニ向テ其開催日數ヲ延長スルト云フ位ノコトヲ致シマシテ

モ到底足リマセヌカラ、ソレデ尙更ニ新シク五箇所ヲ、増加シヤウト云フ必要ガ今日起テ参リマシタノデアリマス、是ハ中間種ヲ是カラシテ増殖シテ行クト云フ上ニ付テハ、ドウアツテモ此競馬ニ此中間種ヲ大イニ出走サセルト云フコトガ必要ニナツテ來テ居リマスノデ、其點カラ日數ノ延長ト場所ノ増加ト云フコトガ必要ニナツテ参ッ次第デアリマス、根本ハソレデスカラ私ガ申上ゲル通り中間種ノ増殖改善ト云フコトヲ、馬政計畫ノ第二期ノ最も重要ナル點トシテ之ヲ行ハムガ爲ニ斯様ナ法律ノ改正ヲ必要トスル次第デアリマシテ、尙ホサウ云フ計算ハ何處カラ出タカト云フコトニ付テハ、政府委員カラ御説明ヲ申上ゲタガ便利デアラウト思ヒマス

○政府委員(戸田保忠君) 馬産ノ第二期計畫ハ御手許ノ方ヘ御參考ニ差上ゲテ置キマシテゴザイマスガ、其第二期計畫ノ綱領ニ於テ第一ニ改良計畫ノ期間ヲ定メテ居リマシテ、第二ニ必要馬數トシテ少クトモ百五十万頭ヲ維持シ、尙ホ努メテ増殖ヲ圖ルト云フコトヲ定メテ居リマス、第三ニ於テ種牡馬ノ頭數ヲ維持スル目的ヲ達スル爲ニ種牡馬ノ増殖ヲ圖リ、保護ヲ加ヘルト云フコトヲ定メテ居リマス、第四ニ馬ノ血液ノ改良又ハ其調節ヲ行ヒ、體型ノ整理ヲ行ヒ、種類固定ノ基礎ヲ確立スルト云フコト

ヲ定メマシテ、第五ニハ產馬ノ方針ハ馬ノ持久力ニ重キヲ置キ、其體格ハ中等體尺者ノ使用ニ適セシムルヲ標準トシ、輓用型中間種ノ多數ヲ生産スルヲ主眼トスルト云フコトヲ定メマシテ、是等ノ改良計畫ト共ニ行フベキ各種ノコトヲ規定シテ其中ニ競馬ト云フコトモアリマスガ、「サラブレッド」ハ只今大臣カラ御説明ガアリマシヤウニ、總テノ馬ノ改良ノ根本トナルモノデアリマシテ、非常ニ必要ナモノデゴザイマスガ、更ニ馬産ノ改良ノ上カラ見マシテ、單純ナル馬産改良ノ上カラ見マシテ、競馬ガ普通ノ駈歩競走ノミニ依ルコトハ理想デハアリマセヌノデ、詰リ障礙競走デアリマストカ、速歩競走、及ビ「アラブ」「アングロアラブ」ノ競走ヲ獎勵スル必要ガゴザイマスガ、現在ノ法人數ト開催ノ期間デハ此理想ヲ實施スルコトガ思フヤウニ出來マセヌ、堅忍持久力ノアル所ノ良種馬ヲ得マシテ、ニハ障礙競走ヲ獎勵スル必要ガゴザイマス、ソレカラ中間種ヲ獎勵スル爲ニハ速歩競走ヲ行ハシムル必要ガゴザイマス、ソレカラ一面駈足競走ハ只今申上ゲマシヤウニ纖細菲薄ノ馬ヲ作り易イト云フ非難ガゴザイマスノデ、努メテ競走距離ヲ長カラシムルト共ニ負擔重量ヲ過重イタシマシテ、其弊害ノ防止ニ努メツアルノデアリマシテ、競馬法施行後五箇年ノ間ニ、初メニ比ベマ

スレバ、今日ハ競走ノ距離ガ段々長イノガ出來テ來マスシ、段々負擔重量モ過重シテ參ッタノデアリマス、併ナガラ競馬ガ速力ヲ尙ビマス關係カラ知ラズ識ラズノ間ニ「サラブレッド」偏重ノ弊ニ陥リ易イノデアリマスカラ、國防上カラ最も要求サレル所ノ「アラブ」「アングロアラブ」ノ競走ヲ獎勵シタイト思フノデアリマスルガ、現在デハ十一競馬俱樂部ノ中ニキマシテ、各一回ヅ、障害物競走、速歩競走ヲ行ッテ居ルノニ過ギマセヌ、併シ實情カラ言ヒマス、之ヲ直チニ多數行フト云フコトハ實際問題トシテ出來ナイ狀況デゴザイマス、ソレカラ「アラブ」「アングロアラブ」ノ競走ハ中山ノ競馬俱樂部デ一回行ッテ居ルニ止マッテ居リマス、又今直チニ數回ノ競馬回数ヲ增加セシムルト云フコトハ、是モ實際ノ競馬ノ狀況カラ言ヘバ事情ガ許シマセヌ、サウシテ先キニ申上ゲマシタ：大臣カラ話サレマシタ馬政ノ計畫カラ見マシテモ、三千餘頭ノ馬ヲ競馬ニ依ッテ鍛鍊スル必要ガアリマスノデ、其細カイ數字ノ基礎ハ是カラ申上ゲヤウト思ヒマスガ、斯ウ云フ三千頭ノ馬ヲ走ラセルト致シマスレバ、現在ノ法人ノ數ト開催日數デハドウシテモ足リマセヌノデアリマス、ソレデ之ヲ既設ノ競馬俱樂部ノ狀況ニ當嵌メテ考ヘマス、現行法ノ下ニ於キマシテモ、一回ノ出走馬數ヲ増加イ

タシマシテ、又ハ一日ノ競走ノ回数、現在ハ十一回ヲ原則トシテヤッテ居リマスガ、之ヲ増加シテ出走馬ヲシテ十分ニ出走セシメルコトガ出來ナイカドウカト云フコトヲ考ヘテ見マスルノニ、一回ノ出走馬ハ、危險防止ノ關係カラ云ヒマシテ、競馬場ノ幅ニ自ラ制限ガアルノデアリマシテ、競馬場ノ幅ヲ無限ニ廣クスルコトハ實際問題トシテ不可能デアリマス、現在ハ十二間以上ノ幅ノアルモノハ十五頭、十五間以上ノ幅ノアリマスモノハ二十頭ヲ一回ノ出走頭數ノ制限ト致シテ居リマス、先ヅ是ガ適當ト考ヘテ居リマス、此制限以上ニ一度ニ馬ヲ走ラセルト云フコトハ危險デアリマス、又一日ノ競走ノ回数ハ、競馬ヲ圓滿ニ平穩裡ニ施行セシムル爲ニハ、今日ヤッテ居リマス十一回ノ原則ヲ更ニ破リマシテ、之ヲ數回増スト云フヤウナコトハ實際問題トシテ甚ダ面白クアリマセヌ、回数ガ多ケレバ多イダケ開催執務員等ノ困憊シ易イ狀態ガアリマスノデ、一方御承知ノヤウニ競馬ハ見ニ來テ居ル多數ノ觀客トノ關係モゴザイマスカラ、チヨットシタ間違ヒデモ非常ニヤカマシイ問題ガ：多數ノ群衆ガ集マッテ居リマス關係上、チヨットシタコトデモ色々障害ガ起リ易イノデアリマシテ、餘程間違ヒナシニ各回数ノ「レース」ガ行ハレテ行キマセヌト、次ノ「レース」ガ遂ニ行フト出來ナ

イト云フヤウナ狀況ニ陥リ易イノデアリマス、競馬法施行ノ五箇年間、觀客ノ方モ大分モウ訓練サレマシテ、初メヨリ大分宜クハナッテ居リマスルガ、本來多數ノ人ガ集マッテ居リマスルカラ、餘程氣ヲ付ケテ行ハネバナラヌノデアリマス、ソレカラ又回数ヲ餘リ長ク致シマス、サウ云フ點ニ非常ニ缺陷ガ出来テ參リマス、ノミナラズ夜暗クナッテカラ馬ガ走ルト云フコトニナレバ、馬ノ爲ニモ危險デアレバ、騎手等モ危險デアリマスシ、觀客ニモ危險ガ生ズルト云フコトニナリマスノデ、現在ハ十一回ヲ原則トシテ居リマス、唯只今申上デマシタヤウニ、之レニ依リマシテ十五頭若クハ二十頭以上ニナリマシタ場合ニハ、甲乙ト云フ風ニ分ケマシテ回数ヲ延バス場合ガ例外的ニゴザイマス、原則ハ十一回トシテアリマス、是ハ外國等デハモト少イノデアリマス、デ我國デハ施行以來大體十一回ヲ原則トシテヤッテ居リマスガ、之ヲ更ニ原則ヲモット延バサセテ回数ヲ増スト云フコトハ面白クアリマセヌノデ、競馬ノ完全ナル發達ヲ獎勵イタシタイト思ヒマスノデ、從ッテ開催ノ期間ヲ二日延バシ、法人ノ數ヲ増加イタシマシテ、只今申上デマシタヤウニ馬匹ノ改良上ノ要求ニ應ジタイ、サウシテ馬匹ノ改良上必要ナル競馬ニ依ッテ能力檢定ヲ要スル所ノ馬ノ數カラ割出シマシテ、開

催日數ヲ二日増シ、ソレカラ法人數即チ場所ノ増加ト云フコトヲ極メタ次第デゴザイマス、然ラバ其馬ハドウ云フ馬デアアルカト云フコトニナリマス、斯ウ云フ計畫ヲ致シテ居リマス、是ハ競馬ニ依リマシテ鍛鍊ヲ要スル馬ノ數ハ、駈足競走ト障礙競走ニ於キマシテ約千七百七十頭、速步競走ニ於キマシテ約七百三十九頭、合計約二千五百九頭ノモノヲ年々競馬ニ依ッテ鍛鍊スル必要ガアル基礎數ト考ヘテ居リマス、併ナガラ實際問題ト致シマシテハ、之ヲ假ニ三箇年、四歳五歳六歳ト競馬デアルト假定イタシマス、三倍ノ數ニナリマスノデ、非常ニ多數ニナリマス、ソレダケノモノガ總テガ競馬ニ出得ルコトハ實際問題トシテ無理デアリマスノデ、最小限度ニ於キマシテ、公認競馬ニ於キマシテハ差當リ只今申上デマシタ頭數ノ中カラ、種牡馬候補馬、並ニ種牡馬及優良軍馬生産用ノ蕃殖牝馬ノ補充ノ目的ヲ以チマシテ、少クトモ千六頭ヲ競馬ニ出ス必要ガアルト云フ風ナ計算ニ致シテ居リマス、其計算ノ基礎ニ付テハ更ニ說明ノ便宜上後程申上デマス、ソレデ此千六頭ノ計算カラ致シマス、千六頭ノモノヲ年々走ラセマシテ、四歳五歳六歳ノ間走ラスト致シマス、三箇年デアリマスノデ、其走ル數ハ千六頭ノ三倍ニナリマス、詰リ一箇年ノ出走實數ガ三千十八頭トナルノデ

アリマス、ソレデ競馬ノ今ノ現況カラ推シマシテ、競走馬一頭ノ一箇年ノ平均ノ出走回数ガ五回デゴザイマシテ、各俱樂部ノ一回ノ競走ニ於ケル平均ノ出走頭數ガ七頭デアリマス、ソレデ此競走回数ヲ算出イタシマスト二千五百五十五回ニナリマス、改正案ノヤウニ一俱樂部ノ開催日數ヲ一箇年十二回ト致シマシテ、競走回数ヲ現行ノ如ク一日十一回ヲ原則ト致シテ行キマス、一俱樂部ノ競走回数ハ百三十二回トナリ、此競走ヲ圓滿ニ遂行セシムル爲ニハ、現在ノ競馬俱樂部十一箇所ヲ少クトモ十六箇所ニ増加スルノ要ガアリマシテ、此回数カラ言ヒマス、マダソレデモ四十三回ダケ要求ガ滿タサレヌコトニナリマスガ、ソレハ此數ト云フモノハ、多キニ失スルヨリハ少クテ我慢スル方ガ無難デアリマスノデ、十六箇所ニ止メタ次第デゴザイマス、ソレデ只今申上デマシタ千六頭ト云フヤウナモノガ基礎ニナリマスガ、ソレハドウ云フ數字デアアルカト云フコトヲ申上デマス方ガ宜イト思ヒマスガ、御手許ニ御覽ニ入レテアル筈デゴザイマスガ、「競馬ニ出走セシムヘキ馬數調」ト云フモノガゴザイマス、競走ノ種類ニ驅步競走、障礙競走、速步競走ト云フヤウナコトニナッテ居ル、其區分トシテ種牡馬候補馬、輕種競馬鍛鍊ニ要スル頭數ガ三百五十頭、其出走率ガ全部、出走セシムベ

キ頭數ガ三百五十頭、種牡馬生産用蕃殖牝馬候補馬、輕種競馬鍛鍊ニ要スル頭數ガ四百二十頭、出走率ガ二分ノ一、其頭數ガ二百十頭、軍馬生産用蕃殖牝馬候補馬、輕種競馬鍛鍊ニ要スル頭數ガ千頭、出走率ガ五分ノ一、出走セシムベキ頭數ガ二百頭、其合計ハ駈步競走及障礙競走ニ於キマシテハ、競馬鍛鍊ニ要スル頭數ガ千七百七十頭、出走セシムベキ頭數七百六十頭ト云フコトニナッテ居リマス、速步競走ノ區分ニ於テ、種牡馬候補馬、中間種競馬鍛鍊ニ要スル頭數三百三十六頭、出走率三分ノ一、百十二頭、種牡馬生産用蕃殖牝馬候補馬、中間種四百三頭、出走率三分ノ一トシマシテ、百三十四頭、此速步競走ノ方ハ競馬鍛鍊ニ要スル頭數ヲ合計シマス、七百三十九頭、出走セシムベキ頭數二百四十六頭、雙方ヲ合セマシテ競馬鍛鍊ニ要スル頭數二千五百九頭ニナリマシテ、其或ハ全部、或ハ二分ノ一、三分ノ一、五分ノ一ガ出走スルモノトシマシテ、千六頭ト云フ計算デゴザイマス、是ガ先程申上デタヤウニ、其千六頭ノ馬ヲ年々四歳五歳六歳ト云フモノヲ走ラセマス、詰リ約三千頭ゾ、走ルト云フコトニナリマス、此馬數調ノ内譯ニ付テ少シク御説明申上デマス方ガ宜イト思ヒマスガ、ソレハ矢張り差上ゲテアルト存ジマスガ、第一駈步競走又ハ障礙競走ヲ行フベキモノハ約千七

百七十頭ト云フモノハ、ドウ云フコトカラ
 サウ云フ計算ガ出タカト云フ説明デゴザイ
 マス、第一ハ最近四箇年間ニ於キマシテ輕
 種系ニ屬スル民有種牝馬ノ平均新補充數ガ
 七十頭デゴザイマスガ、輕種系種牝馬ハ特ニ
 多數ノ候補馬中ヨリ之ヲ嚴選スル必要ガゴ
 サイマスカラ、少クトモ其五倍、即チ三百
 五十頭ノ牝馬ヲ競馬ニ依リマシテ能力檢定
 フスル必要ガアルト云フノデアリマス、第
 二ハ前記ノ牝馬ヲ得マスル爲ニハ、約十二
 倍即チ四千二百頭ノ蕃殖牝馬ガ必要デゴザ
 イマスガ、此蕃殖牝馬ヲ十年更新ト致シマ
 スレバ、年々其一割ニ相當スル四百二十頭
 ヲ競馬ニ依テ鍛鍊シテ補充スル必要ガアリ
 マス、第三ハ輕種ニ屬シテ居リマス軍用乘馬
 一千頭ヲ得マスル爲ニハ、少クトモ約十倍
 即チ一万頭ノ蕃殖牝馬ヲ必要ト致シマス、
 即チ前ニ申シマシタ通り十年更新ト致シマ
 シテ、年々千頭ノ輕種系牝馬ヲ競馬ニ依テ
 鍛鍊スル必要ガゴザイマス、尙戰時ニ於キ
 マシテノ軍用乘馬ノコトヲ考慮イタシマス
 レバ、以上ヨリハ多數ノ輕種系牝馬ヲ競馬
 ニ依テ鍛鍊シ置ク必要ガ起テ参リマス、第
 二ハ速歩競走ヲ行フベキモノデゴザイマ
 ス、是ガ約七百三十九頭デアリマス、其御
 説明ヲ申上ゲマス、其ハ最近四箇年間
 ニ於キマシテノ中間種系ノ民有種牝馬ノ平
 均新補充數ハ四百十八頭デアリマスガ、其種

牝馬中ニハ農用馬等ノ生産ヲ主トスル小格
 輕馬型ノモノヲ相當多數含シテ居リマスノ
 デ、北陸、關東、東海、中國、四國等ノ小
 格輕馬產地ノモノハ之ヲ除キマシテ、更ニ
 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、福島、
 長崎、熊本、宮崎、鹿児島等ノ十道縣ニ於
 ケル中間種種牝馬ノ數ガ三百三十六頭ノ三
 分ノ一、即チ百十二頭ヲ速歩競走ニ依リ能
 力檢定濟ノモノノ中ヨリ選擇スルモノト致
 シマシテ、其三倍ニ相當スル牝馬ノ中カラ
 之ヲ嚴選スルモノト致シマスレバ、三百三
 十六頭ノ牝馬ヲ競馬ニ依テ鍛鍊スル必要ガ
 アルト云フコトニナルノデアリマス、其二
 ハ是等ノ牝馬ヲ得マスル爲ニハ、其約十二
 倍即チ四千三十二頭ノ蕃殖牝馬ヲ必要ト致
 シマス、デスカラ十年更新ト致シマスレバ
 年々四百三十二頭ヲ競馬ニ依テ鍛鍊補充スル
 云フ必要ガゴザイマス、是以外ニモ尙多數
 ノ速歩競走ヲ行フベキ馬ガアルト思ヒマス
 ガ、公認競馬ニ於キマシテハ漸ヲ逐ウテ實
 施スルコトトシ、差當リ種牝馬タルベキモ
 ノノ一部ニ止メテ計算ヲ致シマシタノデア
 リマス、計算ノ基礎ハ只今申上ゲタヤウナ
 狀況ニナツテ居リマス
 ○大津淳一郎君 私ハ一向競馬ノ方ノコト
 ハ不案内デ、誠ニ面倒ナ御質問ヲスルカモ
 知レマセヌガ、府縣デ行テ居ル競馬法ト云
 フモノハ、アレハドウ云フ法律ニ依テ...

府縣ニ競馬ガ幾ラアリマスガ、毎年出シマ
 スルヤウニ思ヒマスガ、其競馬ト、此競馬
 法ニ依ル十六箇所ノモノト府縣ノ競馬法ト
 ハ、矢張り馬ノ改良上何カ頗ル關聯シテ行
 カナケレバナラヌト思フ、府縣ノ競馬法ノ
 ドウ云フ法ニ依テ、各府縣ニ何箇所アリ、
 全國デドレダケアツテ、其府縣ノ競馬法ハド
 ウ云フ...只今御話ノヤウナ中央ノ此競馬
 法ニ依ル競馬デアルヤウナ仕事ヲシテ居ル
 カ、府縣デアルノモ中央デ定メタ十六箇所
 ト雖モ、馬ノ品質ヲ改良スルコトカ云フ、今ノ
 御説明ノヤウナコトヲスルニ於テハ同ジ譯
 ニナル、府縣デヤツテ居ルモノハドレダケノ
 效果ヲ奏シテ居ルカト云フコトニ付テ參考
 ガアレバ、サウ云フコトモ此處デ法律ヲ極
 メルコトノ參酌ニナルノデアリマスカラ、
 ソレヲ細カニ御調べノモノヲ御提出ニナリ
 マセヌト、此法案ヲ極メルニモ餘程關係ヲ
 持ツト思フノデアリマス、今之ヲ拜見シマシ
 タガ、府縣ト關聯シテ居ルモノハアルカモ
 知レナイガ、私ニハ見エナイノデアリマス
 カラ、ソレヲ御面倒デモ、私共ノヤウニ知
 ラナイモノニモ能ク分ルヤウニシマセヌ
 ト、本案ノ善惡ガ分ラナイノデアリマス、
 此點ハ御面倒デモ一ツ今日殘ラズ極テシ
 マフトモ存ジマセヌカラ、次ノ委員會マデ
 ニハ御調べニナツテ、我々素人ニモ分ルヤウ
 ニ御示シアラムコトヲ希望スルノデアリマ

ス
 ○政府委員(戸田保忠君) 只今ノ御尋ハ地
 方競馬ト我々ノ方デハ申シテ居リマスガ、地
 方競馬ハ競馬其モノノ目的ガ競馬法ニ依ル
 競馬トハ違テ居リマス、ソレデ或點ハ無論
 一致シテ居リマスレドモ、此法律ニ依ル
 競馬ハ全國的ニ馬ノ能力ヲ檢定スルノデア
 リマス、地方競馬ノ方ハ其地方ノ產馬ノ獎
 勵ナリ、又馬事思想ノ普及ナリト云フ、限
 定セラレタル目的ヲ持テ居ルノデアリマ
 シテ、其地方馬ノ詰リ馬ノ能力檢定ト云フ
 コトニナリマス、從テ地方競馬ノ方ハ全國
 的ニ馬ヲ檢定スルノデハゴザイマセヌデ、
 競馬法ニ依ル競馬トハ全然其意味ニ於ケル
 目的ガ違テ居リマス、ソレデ地方競馬ノ方
 ハ法律ガゴザイマスノデ、法律ニ反スルヤ
 ウナコトハ出來ナイノデアリマス、法律ニ
 觸レナイ範圍内デ、元ハ馬政局時代ニ内閣
 直屬デアッタト思ヒマスガ、閣下ガゴザイマ
 シテ、唯地方長官ノ認可ヲ得レバ出來ルヤ
 ウニナツテ居リマシタ、從テ馬券ヲ賣ルト云
 フヤウナコトハ出來マセヌ、當品券附ノ競
 馬ニナツテ居リマシテ、ソレヲ此數年來、競
 馬法施行後デゴザイマスガ元ノ規則ガ極ク
 簡單ナ規則デゴザイマシテ、唯地方長官ノ
 認可ヲ受ケレバ出來ルコトニナツテ居リマ
 シタ爲ニ、非常ニ濫設サレル傾キガゴザイ
 マシテ、地方競馬ノ本來ノ目的カラ申シマ

スレバ……公認競馬ハ全國的ニ馬ノ能力ヲ
檢定スルノデアリマスカラ、其場所等ニ付
キマシテモ、或ハ馬產地ニアルモノモゴザ
イマスシ、或ハ都會ニアルモノモアルノデ
アリマスカ、地方競馬ノ本來ノ目的カラ言
ヘバ、馬產地ニ設ケルコトガ比較的必要デ
アリマス、併シ事實問題トシテハ單ニ地方
長官ノ認可ヲ得レバ出來マス爲ニ、ソレ程
ノ馬產地デナイ所ニ非常ニ澤山出來ルト云
フヤウナ傾向ガアリマシテ、却テ一方公認
競馬ト、其競馬場ヘ行ク人ナドガ誤解ヲシ
タリスル虞ガアリ、色々弊害ヲ來ス虞ガア
リマスノデ、馬政委員會デモ問題ニナリマ
シテ、從テ當局ニ於キマシテハ、馬政委員
會ニ諮問ヲ致シマシテ、地方競馬ノ規則ヲ
制定シテ地方競馬ヲ取締ル必要ヲ感ジマシ
タノデ、一昨年ト思ヒマスガ省令デ、從來
ハ極ク簡單ナ規則デ唯認可サヘ得レバ出來
マスノヲ、施行ノ方法其他ニ付キマシテ取
締ヲ行フト同時ニ、各府縣ニ於ケル地方競
馬ヲ許シマスル數ヲ制限ヲ致シマシテ、馬產
縣ハ一縣三箇所、ソレニ次グ縣ハ一縣二箇
所、然ラザル縣ハ一縣一箇所ト云フコトニ
致シマシテ、從來ノ様ニ無制限ニ許スト云
フコトハイケンイト云フコトニ致シマシテ、
ソレハ現在デハ地方競馬ニ關スル省令ノ發
布ノ前ニ比ベマスレバ減ッテ居リマス、只
今申上ダタヤウナ制限ヲ設ケマシタガ、實際

問題ト致シマシテハ、其取締ノ省令發布前
ニ或ル縣デハ七箇所八箇所設ケテ居リマス
ノデ、ソレヲ一片ノ省令デ一時止メマス
コトハ、畜產組合等ノ經濟ノ問題カラ致シマ
シテドウカト思ヒマシテ、一定ノ期間ヲ設
ケテ之ヲ漸次止メルト云フ方針ニ致シマ
シタ、從テ此省令發布後稍、整理サレタ箇
所モゴザイマスガ、又一縣三箇所ナリ或ハ
二箇所ト極テ居ルニ拘ラズ、整理ノ途中ニ
アル故ニマダソレ以上ニ殘ッテ居ル所モア
リマス、サウ云フ工合デ地方競馬ノ規則ノ
沿革ヲ申上ダタノデアリマスガ、省令デ規
定サレテ居リマシテ馬券其モノノ發賣ハ
許サレテ居ラヌノデアリマス、賞品券附ノモ
ノデ、斯ウ云フ風ニナッテ居リマス、試ミ
地方競馬規則ヲチヨット讀ミ上ゲマスガ第
一條ハ「競馬ヲ施行セムトスル者ハ競馬法
ニ依ル場合ヲ除クノ外地方長官（東京府ニ在
リテハ警視
總監以）ノ許可ヲ受クベシ」、第二條ハ「前條
ノ許可ハ優勝馬投票ニ依リ景品券ヲ發行ス
ル競馬ノ施行ニ付テハ畜產組合聯合會又ハ畜
產組合、優勝馬投票ニ依リ景品券ヲ發行スル
競馬ニ非ザル競馬ノ施行ニ付テハ畜產組合
聯合會、畜產組合又ハ馬ノ改良増殖ヲ目的
トスル團體ニ非ザレバ之ヲ受クルコトヲ得
ズ」トナッテ居リマシテ、今讀ミマシタ第二
條ニハ二ツノモノヲ含シテ居リマスノデ、
普通言フテ居リマス地方競馬ト云フノハ前

者ノ方デアリマシテ、詰リ景品券附ノ勝馬投
票ヲスルコトガ出來ル競馬デゴザイマス、
是ハ先程申上ダタヤウニ制限ヲ加ヘテ居ル
ノデアリマス、其後段ノ方ノ景品券モ何ニ
モナイ唯馬ヲ走ラセル祭典ノ競馬ノ方ハ餘
リヤカマシイ取締リヲシテ居リマセヌ、ソ
レハヤルノモ極ク少ナイノデ、此御祭競馬
ト云フノハ唯馬ヲ走ラセルバカリデゴザイ
マスガ、今ノ景品券附ノ優勝競馬等ヲ行フ
モノガ、場合ニ依ルト此公認競馬ト云フ方
ニ間違ヘラレル感ヲ抱カセタリ、色々弊害
ヲ生ズルコトガアリマスルノデ、此法律ノ
三條以下ノ規定ニ依テ制限ヲ設ケテ、嚴重
ヲ取締令ヲ一昨年作リマシタ次第デゴザイ
マス、地方競馬ト法律ニ依ル公認競馬トノ
差異ハ今御話申上ダタヤウナ次第デゴザイ
マス、デアリマスカラ實際ヤッテ居リマス
競馬ハ細ク申セバ三ツニナリマス、法律ニ
依ル競馬、ソレカラ唯今申上ダタヤウニ、
法律ニ觸レナイ範圍内デ景品券附デ優勝馬
ノ投票ヲ行ヒマス競馬、是ハ元ハ閣令デ……
最近改正後ハ農林內務兩省令ニナッテ居リ
マスガ……、其省令ニ依ッテヤル競馬、同
ジク其省令ニ依テヤルノデアリマスガ、優
勝馬投票ヲヤリマセヌデ、御祭ノ場合ニ唯
馬ヲ走ラセル、サウ云フヤウニ勝馬投票券
モ何モナイデ、唯馬ヲ走ラセルト云フ三種
類ゴザイマス

○大津淳一郎君 唯今御説明ハアリマシタ
ケレドモ、地方競馬モ馬ノ產額ヲ増シテ行
キタイ、馬ノ品質ヲ改良シテ行キタイト云
フヤウナ、馬ト云フ方ノ目的カラ言ヘバ中
央ノ定メル競馬法ト何等ノ違ヒモナイモノ
ト思ハレルノデアリマス、ソレカラ競馬法
ノ一番人ノ非難攻撃ニ上ルノハ場所ノ奪
合ヒ、是ハ矢張り中央ノ……既ニ大阪邊リ
デハ此法ノ通過ヲ見越シテ、今運動ヲシテ
居ルト云フ狀況デアル、又其他ノ府縣ニ於
テモ矢張り其通り場所ノ奪合ヒカラ有力ノ
者ガ尻押シヲシテ運動シテ、間クニ堪ヘナ
イヤウナ狀態ガアルノデアリマス、私ノ郷
里ノ方デモ五万何千ト云フ馬ヲ產シテ居リ
マスカラ、何番カノ馬產地ノ方ニ這入ッテ
居リマスケレドモ、是ハ實ニウルサクテ仕
方ガナイ、郷里ヘ歸ッテモ斯ナコトヲ耳ニ
スルト云フト嫌ヤデ仕方ガナイガ、地方ニ
行クト耳ニ這入ル、御祭典ノ際ニヤル競馬
ハ何程數ガアルカ知ラヌケレドモ、至ッテ少
ナカラウト思フ、今ノ賞品券ヤルト云フノ
ハドウ云フ賞品ノヤリ方ヲスルカ、細カシ
イコトハ知リマセヌケレドモ、隨分人ガ多
數集ッテ來テ騒ギ出スト云フヤウナコトデ、
馬ノ改良ヲ忘レテ唯賞品ノ騒ギデ開ク、十
六ヶ所拵ヘテモ、十二ヶ所拵ヘテモ、議論
トシテハアナタノ説明ノヤウナ馬ノ改良ト
カ能力檢定ト云フコトガ斯ウナッテドウ

ナルト言フコトハ、是ハ單ニ算盤ノ理想トシテハ行キマセウケレドモ、實際競馬場騷イデ居ルト云フノハ今ノ賞券賣買ノ爲ニ、必死デ其場所ノ奪合ヒヲシテ居ル、サウ云フモノガ出来レバ土地ノ繁榮ト云フモノモ伴テ來ルコトハ爭ハレナイデアリマセウガ、此場所ノ移轉ハ一ツノ權利株ノヤウニナツテ、其場所ヲ外ヘ移シテヤルト云フノデ、何万圓出セバヤルトカ、何十万圓出セバ己ノ方デ止メテ御前ノ方ヘ移轉シテヤルト云フヤウナコトモ始終聞イテ居ル、ソナ噂ヲシテ騷イデ居ルト云フコトモアルノデアリマスカラ、競馬法ト云フモノハ馬ノ數ヲ増シタリ、馬ノ衰滅シナイヤウニシタリ、良イ馬ヲ出スト云フコトニ付テハ矢張り地方ノ馬産地ノ競馬ト關連シテ居ルト思フ、又此法ノ上カラ弊害ノ起ルト云フヤウナコトニ付テモ大ナルモノハ勿論、小ナルモノモ矢張り其弊害ハ持テ居テ、殊ニサウ云フモノガ地方ヲ騷ガシテ居ルノデアリマス、デスカラ餘程是ハ素人ノ我ニハ勘考ヲ要スベキモノト思ヒマスガ、地方ノ馬産地ノ馬ノ數ダケハ何千何万ト云フ數ガ各縣ニ於テ出来テ居リマスガ、各縣ニ於テ設ケテ居ルモノヲ中央デ取締ルベキ競馬ハ、何處縣ニハ三箇所ナラ三箇所アル、其中ノ賞品モ何モ附ケナイ競馬ハ何箇所、賞品附キデ騷イデ居ル競馬ハ何箇所、一年何回カ法

令ニ依テヤツテ、ドウ云フ結果ヲ見テ居ルカト云フコトハ、畜産家ハ御調ベニナツテ居リマセウガ、政府モ御調ベハアルニ相違ナイガ、御面倒デモ一ツ其邊ノコトヲ參考書トシテ御提出セラレムコトヲ願ヒマス

○政府委員(戸田保忠君) 地方競馬ノ主催者ノ調ガゴザイマスノデ、後程……

○大津淳一郎君 御説明ヨリハ書類デ見タ方ガ宅ニ持歸テ見ラレマスカラ御面倒デモサウ願ヒマス

○政府委員(戸田保忠君) 承知シマシタ、出来テ居リマスカラ差上ゲマス、唯先程御話ノ祭典競馬ハ臨時ニヤルモノデスカラ其方ハゴザイマセヌ、又餘リ弊害モゴザイマセヌノデ其方ハ別段調ベテ居リマセヌ

○政府委員(東武君) 只今大津サンノ御説御尤デアリマスガ、此地方競馬ト云フモノハ、實ハ祭典競馬トカ草競馬トカ色ト云ヒマスルガ、是ハ昔カラ何所デモ到ル處ニアルノデス、ソレヲ餘リ亂雜ニ流レテハナラヌト云フノデ、一昨年省令ニ依テ嚴重ナ取締規則ヲ設ケテ、サウシテ之ノ許可權ハ府縣長官ニ許可一任シテアル、監督ハ本省ガ其監督ヲスル、此事ニ付キテモ衆議院ノ委員會等ニ於テ屢、質問ガアツテ、是ハ今後十分嚴重ナル監督ヲスル方針ニナツテ居ル、多少ノ弊害ガ之ニナイトモ我ニハ申セマセヌガ、併ナガラ唯法制ノ上ニ之ヲ取締ル途

ガナカタノデアアルカラシテ、省令ヲ以テ嚴重ニ取締ルコトニ方針ヲ決メテ今尙ホヤリツツアル、整理ヲシ監督ヲスルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、地方競馬ト云フモノハ居出デニナツテ居ル、許可ニナツテ居ルモノガ隨分多數ニハ上ツテ居ルガ、是ハマア其馬産地方ニハ村ニモアルシ、郡ニモアルシ、何處ニデモ皆ヤツテ居ルノデアリマスルガ、之等ノコトハ十分今後ト雖モ一層注意ヲシナケレバナラヌト思ツテ居リマス、ソレカラ今ノ競馬場ノ或ハ利權問題トカ、或ハ土地ノ詰リ爭ヒトカ云フヤウナコトハ、是ハ多少噂モアリマスルガ、併ナガラ從來此競馬場ノ移轉ニ付テ、費用ヲ出シテ何處ニ移轉スルトカ云々ト云フ話ガ大架梁ニ聽エテ居リマスケレドモ是ハ外ニハナイ、十一競馬ノ中唯宮崎縣ノ競馬ガ廣島ニ移ルト云フコトノ、宮崎縣競馬俱樂部ノ者カ何カ話ヲシタ、相當ニ交渉ガアツタトカ云フコトニ我ニハ耳ニシテ居ルガ、是ハ本省デハ關係ノナイコトデ、又斷然サウ云フモノハ許可スル方針デモナカタノデ、是ハ唯宮崎競馬俱樂部ノ人間ト、廣島ノ或二三ノ人間トガ何カ話ヲシテ、サウシテ宮崎縣ノ競馬ハドウモ餘リ成績ガ良クナイカラ、廣島ニ移シタイト云フコトデ、大分運動ナドガアタト云フコトハ聽イテ居ル、併シ本省ノ方デハ斯ウ云フモノハ一切取上ゲモシナケレ

バ、又サウ云フコトニ依テ不正ガ行ハレタトモ感ジテ居ナイ、又現在今日迄ノ狀況ハ、競馬法制定以來ノ狀況ハ、極メテ嚴肅ニ行ハレツツアルノデ、比較的此法制上ニ於テ監督ヲ嚴重ニシ、且ツ相當ノ人間モ之ニ從事致シテ居ル爲ニ、嘗テ明治四十二三年頃ノヤウナアア云フ非常ナ亂雜ナコトハ實ハナイノデ、又其他ニ付テ取締方法、違反事件等ヲ見マシテモ、極メテ嚴肅ニ行ハレテ居ル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此事ダケ申上ゲテ置キマス、ソレカラ尙ホモウ少シ附加ヘテ申シ上ゲマスガ、今後然ラバ場所ガ増設スルト云フト、其爭ヒガ又非常ニムヅカシウナツテ、色ニナコトヲ耳ニスルト云フヤウナコトガアツテハ甚ダ遺憾デアルト云フヤウナ御言葉モアリマス、之レ至極御尤デアリマスルガ、今日迄場所ヲ指定シテ何處ニヤラウト、或ハ運動ヲスレバ何處ニ設ケヤウト云フヤウナコトハ全然アリマセヌ、丁度此法案ガ提案ニナツテカラシテ、各地方カラ陳情書類ノヤウナモノガ相當ニ參ッテ居リマスガ、是ハ今本省ニ陳情ナドガ來テ居ルノヲ、陳情デアアルカラシテ之ヲ受付ケテ見テ置ケバソレデ濟ムノデアルケレドモ、陳情ナドヲ出シテ置イテ、サウシテ世間ニ又色ニナ風説ヲ傳ヘタリ、又其間ニハ或ハ土地ノ思惑ヲスルト云フヤウナモノガ出来ヌトモ限ラヌト云フヤウナ

コトヲ懸念イタシマシタ爲ニ、全部何十通
カノ陳情書ナドモ今ヨリ一週程前ニ却下シ
テシマッタ、此陳情書請願ナドヲ却下スル
ニ云フコトハ書類ノ取扱上ニハチヨット異様
ニ思ヒマシタケレドモ、世間ヲ迷ハシテハ
イケナイと思フテ全部却下シマシタ、全ク
白紙デアリマスカラ、此事ヲ附加ヘテ申上
グテ置キマス

○子爵西尾忠方君 今地方競馬ノコトが出
マシタカラ序ニ地方競馬ノコトヲ何ヒマス
ガ、公認競馬ト地方競馬トハ其目的使命ガ
異ルヤウニ御話ニナリマシタガ、ドウ云フ
點ガ違フノデアリマセウカ、詳細ニ御説明
ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(戸田保忠君) 法律ニ依ルノハ
詰リ全國のニ馬ノ能力ヲ檢定イタシマス
ガ、地方競馬ハ所謂地方競馬デゴザイマシ
テ、其地方產馬ノ能力檢定、馬事思想ノ普
及ト云フ點ニアルノデゴザイマス、從テ地
方競馬デハ或ル非常ニ高價ナラ高價、或ハ
速イナラ速イト云フ馬ヲ各府縣ニ全部追ウ
テ行クト云フコトヲ認メマセヌノデ、唯色
色ノ沿革ガアリマスカラマダ理想的ニハ
行テ居リマセヌガ、多少過渡的ノ嫌ヒハア
リマスガ、今三箇月間其地方デ飼育シタモ
ノデナケレバイカスト云フ規定ニシテ居リ
マス、ソレガ實際ノ狀況トシテハ多少ソレ
ヲ緩和シタ點ガアリマスガ、或ル頭數ノ制

限ヲ設ケテ其範圍内デハ許シテ居リマス
ガ、ソレヲ原則トシテ三箇月其地方デ飼育
シタモノト云フコトデ地方競馬ヲ許シテ居
ル譯デアリマシテ、所謂法律ニ依ル競馬ノ
方ハ全國的ニ馬ノ能力ヲ檢定スルモノデア
リ、地方競馬ハ地方ノ產馬ノ能力檢定デア
ルト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○子爵西尾忠方君 サウシマス、地方競
馬ハ其產馬地以外カラ持テ來ルコトハ絶
對ニ出來ナイノデスカ、ソレカラ又今矢張
リ地方競馬ノ能力檢定ト云フ御話デアリマ
スガ、今日ノ實際ノ狀況トシテ、ソレハ總
テ蕃殖或ハ蕃殖用ニ適スルヤウナ馬ヲ地方
競馬トシテ追フノデアリマセウカ、聞ク所
ニ依ルト、隨分亂雜ニモ行ハレテ居リマス
シ、馬ノ選定等モ唯頭數ヲ合セルト云フコ
トデ、其蕃殖用ニ競馬ノ目的ヲ達スルコト
ニ一向留意シテ居ラナイヤウニ聞イテ居リ
マスガ、其點ハ政府ハドウ云フヤウニ御考
ヘデアリマスカ

○政府委員(戸田保忠君) 地方競馬ハ御承
知ノヤウニ、沿革ガ前ニモ申上デマシタ
ヤウニ非常ニ極ク簡單ナル規則デ許サレテ
居タモノデアリマスカラ、法律ニ依ル競馬
トハ無論行ハレ方違テ居リマス、一方御
祭典競馬ノサウ云フ……言葉ハ何ト云ッテ
宜シウゴザイマス、御祭典競馬ノモノ
生ヘタヤウナモノデアリマス、サウ云フ

ヤウナモノデアリマス、地方競馬其モノモ、
地方產馬ノ詰リ全國的ニ馬ノ能力ヲ檢定ス
ルト云フヤウナ、優秀馬デナイニシテモ、
或ル第二次の第三次のノ馬ノ能力檢定ナラ、
能力檢定ガ出來ルト云フコトガ理想デアラ
ウト思ヒマス、馬事思想ノ養成ト云フカ
ラ行ケバ同ジデアラウト思ヒマスガ、能力檢
定ト云フ方カラハ第二次の第三次のトナリ
マス、サウシテ又此法律ニ依ル競馬デアレ
バ、相當ノ組織ヲ備ヘテ居ルモノデアリ、

所謂馬券ヲ賣ルト云フコトモ法律上認メラ
レテ居ルモノデアリマスカラ、從テ賞金等
モ多額ニ出スコトモ出來ルト云フ次第デア
リマスガ、地方競馬ハ唯賞品券デアッテ、或
ル法律ニ觸レナイ範圍デ許サレテ居ルニ過
ギマセヌカラ、寧ろ小規模デアリ、理想ト
シマシテ無論法律上ノ競馬ノヤウニ行カナ
イノハ、マア無理カラヌコトト思ヒマス、
併ナガラ地方競馬ト云フモノヲ認メテ居ル
以上ハ、是ガ成ルベク理想ニ近付クヤウニ
仕向ケタイト思フノデアリマシテ、三箇月
飼養ト云フヤウナ制限ヲ設ケマシタノモ、
其趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、現状ハ數
年前カラ非常ニ地方競馬ガ流行ト言ヒマス
ルカ、必要以上ニ起リ、從テ其本來ノ目的
ヲ逸脱スルト云フ虞ガアリマスノデ、省令
ヲ發布シマシテ、ソレヲ脱線シカケテ居ル
ノヲ本軌道ニ引直シタイト云フ趣旨カラ、

省令ヲ發布シタ次第デアリマシテ、是ガマ
ダ從前ノ權利ヲイキナリ剝脱スルト云フコ
トモ如何カト云フ懸念カラ、一定ノ猶豫期
間ヲ與ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソ
レカラ又一方成立チガ競馬法ニ依ル競馬ノ
ヤウニ行テ居リマセヌモノデアリマスカ
ラ、何ト云ヒマシテモ非常ニ完全ニハ行テ
居リマセヌ、其點ハ漸次十分ニ矯正、是正
シテ行キタイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第
デアリマス

○子爵西尾忠方君 矢張り地方競馬モ能力
檢定ト云フコトガ其趣旨デ御認メニナッテ
オイデニナッテ居ルノデアリマセウカ、或ハ
只馬事思想トカ云フ意味デ、馬ヲ走ラシテ
興味本位ノ方ガ主デアリマス、或ハ是ガ
矢張り能力檢定ノタメノ主ナル目的トシテ
オヤリニナッテ居ルノデアリマス、其點ヲ
重ネテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(戸田保忠君) 是ハ専門家カラ
……チヨット發言ヲ御許シヲ願ヒタイト思
ヒマスガ、如何デアリマスカ
○委員長(侯爵四條隆愛君) 差支アリマセ
ヌ

○政府委員(戸田保忠君) ソレデヤ馬產課
長

○説明員(横屋潤君) 只今西尾子爵カラ地
方競馬ト公認競馬ノ區別如何ト云フ御尋ネ
デアリマシタガ、是ハ先程局長カラ縷、御

話ノ如ク種々ノ相違ガアルノデアリマス、公認競馬ニ於キマシテハ、丁度第一條ニ競馬法第一條ニ於ケル所ノ改良増殖ト云フヤウナ、詰リ主要ノ目的ガアルノデアリマスガ、無論地方競馬ニ於テモ、ソレハ加味シテハ居リマスガ、馬事思想ノ普及ト云フ方面ニ強キ意味ヲ持ッテ居ルヤウニ思ヒマス、從ッテ其出走頭數ヲ見マスルト云フト、公認競馬ニ於キマシテハ、改良或ハ繁殖ノ目的ニ副ハナイ所ノ牡馬デ申シマスルト云フト、去勢馬、舉ヲ切りマシタ馬ノ如キハ、御承知ノ如ク我が國ニ於ケル所ノ公認競馬ニ於テハ出走シテ居リマセズ、然ルニ地方競馬ニ於キマシテハ全然之ト趣キヲ異ニ致シマシテ、無論有辜ノ馬、或ハ牝馬、或ハ驕馬、舉ヲ切ッテ去勢馬ト云フモノモ出走サセルト云フヤウナ狀況デアリマス、何故ニト云フナラバ、斯ノ如キ相違アリト申シマスルコトハ、先程局長ノ御話ノ如ク公認競馬ニ於ケル所ノモノハ、我が國ノ國防上ノ方面ニ於テ必要ナル所ノ軍用馬、或ハ産業上ニ於ケル所ノ輕輓馬、或ハ亦軍隊ニ於ケル所ノ乗用ノ如キ、騎兵アタリガ乗ル所ノ多クノモノハ、中間種輕輓馬ノ分系タル重乘馬ノ如キ、ソレ等ノモノヲ作ル所ノ繁殖牝馬並ニ其ノモノヲソレニ必要トスル所ノ種牝馬ノ詰リ能力檢定、體力ヲ訓練スル爲ニ、公認競馬ト云フモノハアルノデアリマシテ、

地方競馬ハ是トハ全然趣キ異ニシ、又或ル一方ニ於テ異ニスル點モアルノデアリマス、詰リ地方競馬ニ於キマシテハ、其地方色ヲ帶ビタ馬、御承知ノ如ク我が國ニ於ケル所ノ乘馬產地ハ、北海道ニ於キマシテハ日高ノ國、並ニ渡島半島、石狩ニ於ケル所ノ札幌ノ附近ガ北海道トシテハ一ツノ馬產地、青森縣ニ於キマシテハ、西尾子等ニ於カレテモ其土地ハ既ニ總テ御承知デアラウト思ヒマスガ、八戸、七戸、野邊地、是等ノ諸方面、並ニ宮城ニ於キマシテハ玉造栗原郡、外二郡、福島縣ニ於キマシテハ田村郡、ズット飛ビマシテ、九州ニ於キマシテハ宮崎縣ノ東西諸縣、宮崎郡、南那賀、東西臼杵、鹿兒島縣ニ於テハ噲噲、肝屬、始良三郡ガ、我が國ニ於ケル乘馬產地デゴザイマシテ、要スルニソレ等ノ產地ニ於ケル所ノ地方競馬ト云フモノハ、乘馬數ノ下ニ立脚シテ、ソレ等ノ地方競馬ヲヤルト云フコトハ申スマデモナク、又其他ニ於ケル所ノ主要ナル輕輓馬產地ト致シマシテハ、北海道ニ於テハ十勝、釧路、根室、秋田、岩手、福島ノ諸縣、宮城ニモ輕輓馬ノ產地モアリマス、同ジク先程申上ゲマシタ九州ニ於ケル熊本縣、又宮崎ニ於ケル所ノ兒湯或ハ西諸縣、鹿兒島縣ニ於テモ肝屬ト云フヤウナ諸地ガ、是等ノ輕輓馬產地デアリマス、重乘馬產地ニ於キマシテハ、輕輓馬ニ於ケル所ノ、或ハ速

步競走、或ハ中間種系統ニ於ケル所ノ障礙競走デアルトカ、地方競馬ニ障礙競走ヲ強ユルト云フコトニ於テハ議論ノ餘地ガアリマス、兎ニ角速歩競走ナリ、特殊ノ競走ヲ行フト云フコトガ必要、ソレニ付テ目的ガナケレバナラヌモノダト心得テ居リマス、ソレデ先程公認競馬ト地方競馬ノ相違ノ點ト申シマスルト、去勢馬ヲ地方競馬ハ駈ケラシテモ宜イト申上ゲマシタガ、此點ニ於テ尙ホ少シ申上ゲタイト思ヒマス、地方競馬ニ於キマシテハ、要スルニ乘馬產地タリ、又輕輓馬產地タリ、重輓馬モアリマスガ、是ハ競馬ニ關係ガアリマセヌカラ申上ゲマセヌガ、此二通りノ馬產地ニ於キマシテ、ソコニ生産シ、或ハ又飼育地ノ諸縣ニ於キマシテハ、ソコニ飼育サレテ居ル所ノ馬、其モノノ訓練ナリ、鍛鍊ヲスル爲ノ目的デアリマシテ、是等ノ馬ヲ十分ニ健康ニシマシテ、ソレ等ノ馬ガ一旦何事カ出來マシタ時ニ軍用ナリ、或ハ又平常ニ於テハ産業ニ於テ貢獻スルト云フヤウナ目的ガアルノデゴザイマシテ、從テ蕃殖又ハ改良ト云フ方面ニハ何等ノ使役ノナイ所ノモノニ於キマシテモ、其地方競馬ニ於テ訓練スルト云フコトニ於テ、公認競馬ト地方競馬ノ別ガアルノデアリマス、チヨット一ツ申上ゲマス○子爵西尾忠方君 只今當局ノ御説明ニ依リマスルト、地方競馬ハ蕃殖ニ何等貢獻シ

ナイモノモ訓練ヲスルガ、併シ一面蕃殖ニ非常ニ貢獻スルモノモ大分之二依ッテ訓練サレルコトト思フノデアリマス、所デ地方競馬ガ矢張り訓練ヲスルト云フ御説明デアル以上ハ、地方競馬ニ參加スル馬ハ相當ナ能力ノ鍛鍊ヲスル必要ガアルノデアリマセウガ、唯何等鍛鍊ノナイ馬ヲ以テ走ラセルノデアリマセウカ、苟モ競馬ニ出シ而モソレガ一部分蕃殖ニ貢獻ヲスルト云フ必要ガアルナラバ、相當ナソレニ準備調教ト云フヤウナモノガ必要デヤナイカト云フノデアリマスガ、其邊ノ點ニ付キマシテ更ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○説明員(横屋潤君) 只今申上ゲマシタ地方競馬ニ去勢馬ヲ出走サシテ居リマス、此去勢馬ノ如キハ詰リ既ニ舉ヲナクシマシタ關係上、改良或ハ蕃殖ノ目的ニ副ハナイト斯ウ云フ意味デ申上ゲタノデアリマシテ、無論產地ニ依リマシテハ、青森縣ノ如キ弘前附近ニ於テ僅ニ育成地ヲ有ッテ居ル所ハアリマスケレドモ、殆ド青森縣ニ於テハ多クノモノガ生産地デアリマシテ、育成地ヲ缺イテ居ル所ガアリマス、又岩手縣ノ如キ生産地ト育成地ト兩方兼ネテ居ル所ガアル、秋田縣ハ御承知ノヤウニ主ナルモノハ生産地デアリマスガ、雄勝、平鹿ノ二郡ハ使役或ハ育成地ト斯ウ云フヤウナコトニナッテ居リマシテ、無論其地方競馬ト申シマ

シテモ、其縣ノ或一部ニ於キマシテハ、蕃殖改良ノ目的ニ副フ所ノ牝馬モアル、從テソレニ配スル所ノ種馬モアル譯デアリマシテ、私ハ先程使役スルコトナク申シマシタノハ、純使役地、或ハ使役地方ノ馬匹モ同様ニ參加シテ、共ニ今ノ蕃殖改良ニ使役スル、其縣ノ縣是ト申シマスガ、馬産ニ對スル縣ノ方針ト同一ノ種類ノモノニ、同ジ方針ノ下ニ改良蕃殖モシ、尙ホ一面ニ於テ使役方面ノ馬モ地方競馬ニモ駈ケサセマス、其點ニ於キマシテ後者ヲ詰リ加味シテ意味ガ公認競馬トハ全然異ナル、尙ホ先程地方競馬……ヲヨット私ノ或ハ聽違ヒカトモ思ヒマスルガ、地方競馬ニ於ケル所ノ出走スル馬ガ公認競馬ノ準備上訓練スル、斯ウ云フ意味ノ御話デアリマシタカ、モウ一應、サウ云フ意味ハナイガラウカ、斯ウ云フ御話デアリマシタラウカ

○子爵西尾忠方君 イヤ、私ノ伺フタノハ、其點ハ無論アラウト思ヒマスガ、地方競馬ト云フモノノ今日非常ニ濫設サレ、或ハ中ニハ經營非常ニ困難デアル、當局トシテ之ヲ整理シナケレバナラヌト云フヤウナ御話モ、此間大臣カラ承テタノデアリマスガ、是ハ地方競馬ノ只今御話ノ通りニ、地方ノ特色ヲ發揮シタ競馬ヲヤル、而モ其競馬ガ蕃殖鍛鍊ヲスル目的デアルト云フコトガ大分含シテ居リマスナラバ、唯イキナリ馬

ヲ持テ來テ走ラセテ、所謂御祭ノ競馬ヲヤルト云フヤウナコトダケデナクシテ、苟モ地方競馬トシテ競馬ヲヤル以上ハ、準備調教其他ガ要ルノデナカラウカト思ヒマスルガ、其點ハドウ云フヤウニ御考ヘニナルカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス、無論地方競馬ハ一面馬事思想ノ普及ト云フヤウナコトモアリマセウシ、地方的ノ神事ノ祭ノ場合ニ、祭典の二行ハレルコトモアリマセウカラシテ、蕃殖ニ用ヒルコトガ出來ナイ牝馬ノ如キモノガアルト云フコトモ差支ナイト思ヒマスルガ、大部分ハ詰リ蕃殖ノ鍛鍊ヲスルト云フ意味デアルナラバ、相當ニ馬ヲ出ス準備ガ入ラウカト思フノデアリマス、先刻御話ノ三箇月間ハ其地方ノ飼育シタ馬ガ出ルト云フコトモ必要デアリマスカ、ソレ等ハ大イニ考ヘル餘地ガアルデハナイカ、其點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(東武君) 是ハ私ハ専門家デハアリマセヌガ、併シ大體ノ方針ト致シマシテハ、地方馬ハ馬事振興ノ……一面ニハ馬事振興ノ根據ヲ持チ、又一面ニハ娛樂主義ト云フモノト兩々相俟テ、サウシテ地方競馬ト云フモノハ相當ノ弊害ノナイダケニ取締テ之ヲ行ハシムルト云フ方針デアルト思フノデス、此馬産地方ノ若シ競馬ト云フモノガ能力檢定ト云フヤウナ嚴重ナ意味デアレバ、今ノ現狀デハ甚ダ遺憾ノ點ガアル

ガ、左様ナコトヲ國家ハ目的ニハ致シテ居ラナイ、地方ハ地方ノ地方色ニ依テ蕃殖ヲスル、或ハ役馬利用ノ方面カラ色々ノモノガ混同シテ、サウシテ此競馬ノ番組ガ出來テ居ルノデアリマス、娛樂ト云フモノ、此農村趣味ニ於テ是ガ適當ニ行ハレテモ差支ナイモノト、左様ニ我々ハ考ヘテ居リマス、昔カラ矢張りモウ馬産地方ニハ數百年來行ハレテ居ルコトデアル譯デアリマスカラ、是ハ唯能力檢定トカ、或ハ產馬改良ト云フヤウナソナ窮屈ナ意味ノミデ之ヲ限定シテ、取締トカ何トカ云フヤウナコトハ誤テ居ル、左様ニ考ヘテ居リマス

○子爵西尾忠方君 只今東次官カラ地方競馬ノ存在ハ能力檢定ヲ目的トシテ居ルノデナイ、又產馬改良ノ取締ト云フヤウナ窮屈ナコトハ考ヘテ居ナイ、詰リ娛樂ヲ主トシテ居ルト云フ、果シテ當局ガ地方競馬ヲ唯娛樂ヲ大ナル目的トシテヤッテ御イデニナルト云フコトデアリマスナラバ、是ハ地方競馬ノ本質ニ付キマシテ相當考慮スル點ガアラウト思ヒマスルガ、サウ云フ御見解デアレバ、御見解トシテ承テ置キマス

○政府委員(東武君) チヨット私ハ今ノコトガ少シ御聽取ガ私ノ言タコトト違フ點ガアルト思ヒマスガ、私ハ併用ト云フコト、併用デアアル、全然能力檢定ノ意味ヲ持タヌト云フ意味デハナカッタノデアリマス、

左様御承知ヲ願ヒマス

○子爵西尾忠方君 娛樂ヲ併用スルコトガ公認競馬ニ於テモ同ジガラウト思ヒマス、單純ニ……無論公認競馬モ能力檢定ノ意味ニ於テ初メテ存在ノ意味ガアラウト思ヒマス、單純ニ第一條ニ歌テアリマス通り、馬事思想ノ普及、一般國民ノ趣味娛樂ト云フコトモアラウト思ヒマスガ、其點ガ地方競馬ト云フモノハ娛樂ト云フ方ガ大部分デ、娛樂ガ主デアッテ能力檢定トカ、或ハ產馬改良トカ云フ點ニ付テハ重キヲ置イテ御出ニナラヌト云フ御見解デアリマスガ、其點ヲ伺テ置キタイト思ヒマス

○政府委員(戸田保忠君) 此點私カラ一應御答ヘ致シタイト思ヒマス、詰リ此競馬法ノ如ク嚴正ニ能力檢定……全國のニ能力檢定ヲ主トスルト云フ目標カラ來テ居ルノデナイノデアリマス、沿革の理由モアリマスノデ、今東政務次官カラ話サレタ點モ其處ニアルト思フノデアリマス、一方ニ於テ馬事思想ノ普及及發達ニ利スルコトモ必要デアリ、一方ソレガ能力檢定ニ役立ツコトガアレバ益々都合ガ好イト云フ譯デアリマスノデ、地方競馬ノ方ハ法律ニ依ル競馬ノ如ク徹底のデハナイト御承知ヲ願ヘレバ宜イト思ヒマス、地方競馬モ地方ニ依リマシテ、其内容ガ若干違フノデアリマス、非常ニ能力檢定ニ或程度迄重キヲ置カレテ居ル

地方モアル、ソレハ産馬地等デアリマス、從テ產馬地等ニハ多少多ク認メテ居ルト云フ形ニナツテ居ル、サウ云フ風ニ我ハ考ヘルノデアリマス

○子爵西尾忠方君 無論地方ノ、地方競馬ハ地方ノ特色ヲ發揮スル上ニ於テハ、恐ラク娛樂ニスルヨリカ產馬改良トカ能力檢定ト云フコトガ主ニナツテ、延イテハ尙ホ此娛樂ト云フコト竝ニ馬事思想ノ普及ト云フコトヲ併用シテ行ハシメルト云フコトデアラウト思フノデアリマスガ、其點ハ能ク了解イタシマシタ、此今回御提出ノ基礎ハ、先刻御話ノ通り馬政第二期計畫ニ依ッテ案出ナサタモノト思ヒマス、大體ノ御説明、之ヲ能ク拜見イタシマシテ研究イタシタイト思ヒマスガ、何カ此現在種牡馬並ニ蕃殖牝馬三十六万頭云々ト馬政計畫ニ書イテアリマスガ、是ハチヨット分リ宜イヤウニ表ニシテ載ケレバ大變都合ガ宜イト思ヒマス、更ニ現在ノ競馬ノ出場馬數、出走回数、其點ヲ何カ參考書トシテ御配付ニナツタモノガアルデセウカ、私チヨット分リマセヌガ、チヨット伺ヒタイ

○政府委員(戶田保忠君) 只今ノ御話ハ現在ノ競馬ノ出場ノ馬數デスカ、回数デスカ

○子爵西尾忠方君 現在出場ノ馬數ト及ビ出走ノ回数...

○政府委員(戶田保忠君) 只今ノ點ハ御配

付イタシマシタ競馬統計ト云フ書類ガアリマスガ、其中ニアリマス

○委員長(侯爵四條隆愛君) 西尾子爵ノ御質問ハソレデ宜シウゴザイマスガ

○子爵西尾忠方君 マダ色... 此競馬法ニ付キマシテハ此前モ私委員ニナリマシタヤウナ譯デアリマスガ、モウ少シ色ト參考書類ヲ能ク拜見シマセヌト云フト、數字ノ馬政計畫ノ基礎ニ依ルモノデアリマスカラシテ、此點ハ能ク拜見シテカラ更ニ質問ヲスル機會ヲ與ヘテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(侯爵四條隆愛君) 承知シマシタ、此際此競馬法案ノ改正ニ關シテ、陸軍當局ノ御説明ヲ一應伺ッテ置キタイト思ヒマスガ如何デゴザイマスガ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○政府委員(杉山元君) 軍馬ト致シマシテハ其性能ト致シマシテ、身體ガ强健デアッテ持久力ニ富ミ、又其管理飼養ガ單簡デ容易デアルト云フヤウナ馬ガ軍馬トシテ望マシイノデゴザイマス、此性能ノ見地カラ見テ、從來ノ競馬ニ於キマシテ「サラブレッド」編重ノ傾キノアリマシタコトヲ陸軍當局トシテハ遺憾ニ存ジテ居タ次第デアリマス、然ルニ今度ノ競馬法改正ニ依リマシテ「アングロアラブ」「アラブ」ノ馳走ノ競馬ヲ作ル、或ハ障礙競馬、速步競馬ヲ設ケ、更ニ從來ヨリ量ヲ増加ラシ、馳走距離ヲ殖シタ競馬

ヲヤリタイ、斯ウ云フ御希望ノ下デ、現在ニ於テモ相當馳走ノ馬數モ殖エテ居ル、又新シク斯ウ云フ競馬ノ種類ヲ設ケルト云フコトノ爲ニ日數モ殖シ、箇所ノ増加ヲセナケレバナラヌト云フ農林省側ノ御考ガ出テ來テ居リマス、陸軍當局ト致シマシテハ、只今申上ゲマシタヤウナ兎角「サラブレッド」編重ノ傾キガアリハシナカッタコト考ヘテ居リマシタ此際、軍馬ノ資質ヲ充足スルノ必要デアリマスル障礙競馬ヲ致シマシテ、之ニ依ッテ平坦砥ノ如キ所ヲ駈ケル輕イ競馬馬バカリデナク、道路外ノ森林トカ、或ハ起伏凹凸ノ甚ダシイ所デモ、十分運動スルコトガ出來マスル立派ナ軍馬ガ出來、又負擔量ヲ増加ラシ或ハ又馳走距離ヲ殖シ、持久力ヲ殖スト云フヤウナ希望モ達セラレマシテ、軍馬トシテ必要ナル「アラブ」「アングロアラブ」系ノ馬ガ出テ來マスト云フコトハ、陸軍當局トシテハ國防上軍馬ノ増殖ノ爲ニ誠ニ裨益スル所ガ少カラヌモノト考ヘテ居リマス、斯ウ云フ考ノ下ニ此度提出ニナリマシタ競馬法案ハ、産業上ハ勿論ノコト國防上カラ申シマシテモ、誠ニ結構ナ企テデアルト存ジテ居リマス

(「子爵西尾忠方君發言ノ許可ヲ求ム」)

○委員長(侯爵四條隆愛君) 西尾子爵ハ何か發言セラレマシタカ

○子爵西尾忠方君 モウ御説明ハ濟ミマシタカ

タカ

○政府委員(杉山元君) ハア、宜シウゴザイマス

○子爵西尾忠方君 御伺ヒ致シテ宜シウゴザイマスガ

○委員長(侯爵四條隆愛君) ハイ、宜シウゴザイマス

○子爵西尾忠方君 陸軍ノ當局ニ御伺ヒ致シマスガ、從來「サラブレッド」編重ノ傾ガアツタト云フ御話デアリマスガ、陸軍トシテハ「サラブレッド」デハ軍馬三十分デナイト云フヤウナ御考デアリマセウカ... ドナタカラデモ陸軍ノ方カラ伺ヒタイト思ヒマス

○説明員(濱田陽見君) 「サラブレッド」ノ資質ガ總括的ニ惡イトハ認メテ居リマセヌデゴザイマスガ、「サラブレッド」ノ競走ヲ獎勵スルコトニ依ッテ生ズル所ノ馬產地ニ於ケル波動ト云フモノハ、往々ニシテソレガ持久ノ性能ニ缺クルモノヲ生産スルニ至ルモノデアルト思ヒマシテ、其點カラ「サラブレッド」編重ヲ忌メバナラヌト考ヘテ居リマス

○子爵西尾忠方君 「サラブレッド」ノ競馬ノ方法如何ニ依ッテハ「サラブレッド」ヲ日本ノヤウナ所デ色ミナ種類ヲ澤山入レルヨリカ「サラブレッド」デイン統一ガ出來レバ非常ニ便利ダト思ヒマスガ、陸軍ノ要求トシテハ、「サラブレッド」デハ軍馬トシテ不適當

デアル、又一面只今ノ御話デハ「アングロアラブ」「アラブ」トカ云フモノガ非常ニ良イヤウニ御話ニナッテ居リマスガ、如何デゴザイマセウカ、速力ナドハ「サラブレッド」ハ随分速イヤウデスガ、競馬ノ方法ヲ多少御變ヘニナッテ「サラブレッド」デ軍馬トシテ十分ナヤウニモ我々思ハレマスガ、此點ヲ承リタイト思ヒマス

○説明員(濱田陽兒君) 其點ハ馬政第二期計畫制定當時ニ於テ、論議シ盡サレテ居ルモノト信ジテ居リマス、即チ第二期計畫ニ於テ、輕種ハ將來統一スルニ「アングロアラブ」型ノ馬ヲ以テスルト云フコトニ規定サレテ居リマス、今御話ガアリマシタ「サラブレッド」ニ統一シタラ不可能デアルカト云フ御話ガゴザイマシタガ、必シモ不可能デハナイト思ヒマスケレドモ、「サラブレッド」ノ本質ト云フモノハ、子爵ノ能ク御承知ノ如ク極メテ「デリケート」ナ性質ヲ持ッテ居リマスカラ、之ヲ長ク歴史ヲ有シ非常ニ堪能ナル馬産業者ニ委セザル限リハ、決シテ萬全ナル所ノ「サラブレッド」ヲ産スルコトハ出来ヌノデアラウト思フノデアリマス、從ヒマシテ「サラブレッド」ノ偏重ト云フコトガ行ハレルナラバ、馬産ノ堅實、産馬ノ資質ノ堅實ト云フ點ニ付テハ、我國ノ生産地方ニ對シテ將來一種ノ不安ヲ抱カザルヲ得ヌコトニナルデアラウト思フノデアリマ

ス、又出来マシタ「サラブレッド」ガ軍用能力ニ於キマシテ、非常ニ飼養管理ニ於テ厄介ナコトヲ生ズルナラバ、是其能力ヲ差引イテ不利ダト言ハザルヲ得ヌト思ヒマス、軍馬ノ遭遇スル境遇カラ考ヘテ見マシテモ、一種ノ瞬間速力ヲ要スルコト勿論デアリマスケレドモ、其大部分ハ飼養管理ヲ主體トスル行軍デアリ、或ハ長キ時日風雨ニ曝サレルト云フコトガ大部分デアルカラデアリマス

○子爵西尾忠方君 能ク只今「サラブレッド」ノ御説明ハ分リマシタガ、然ラバ「アラブ」「アングロアラブ」是カラ御生産ニナルト云フノデアリマスガ、ソレ等ニ付テ矢張り陸軍トシテ、御要求ニナルヤウナ堅實ナル「アラブ」「アングロアラブ」ガ生産シ得ルヤウナ御確信ガアルノデアリマセウカ、何カ是等ハ相當ニ御試験ニナリマシタカ、或ハ其邊何カ御説明ヲ得ルコトガ出来レバ仕合セト思ヒマス

○説明員(濱田陽兒君) 是ハ我國ニ於ケル實驗モ恐ラクソコニ來テ居ルト思ヒマスルガ、其具體的事例ヲ今此處ニ十分ニ持合シテ居リマセヌ、併ナガラ「アングロアラブ」ノ軍馬トシテ適當ナルコトハ、此大戦ニ於キマシテモ、佛蘭西ノ聲ヲ高メテ唱道スル所デアリマシテ、是等ノ種類ガ適當ナ種類デアルト云フコトハ疑フ餘地ガナイト思ヒ

マス、是ガ我國ニ於テ如何ニ合成サレ或ハ變形サレルカト云フコトニ付テハ、今直チニ將來ヲ豫想スル譯ニハ參ラヌカモ知レマセヌケレドモ、從來ノ經驗ニ依リマシテモ、先ヅ此種類ナラ大丈夫行ケルト思ッテ居リマシテ、農林當局デ御盡力ニナリ御指導ニナレバ、「サラブレッド」ニ優ルコト萬々デアラウト信ジテ居リマス

○子爵西尾忠方君 農林省ノ當局ノ方ニ伺ヒマスガ、我國ノ牧野ハ可ナリ荒廢シテ居ルヤウニ思ッテ居リマスシ、産馬ニ付キマシテハ種々ナル困難ガアルヤウニ思ッテ居リマスガ、今回競馬其他ニ依ッテモ「アラブ」「アングロアラブ」ノ方ニ十分ニ御改良ニナラウト云フ計畫デアリマスガ、其邊ニ付テ技術的方面カラノ御説明ヲ此機會ニ承リタイト思ヒマス

○政府委員(戸田保忠君) 其點ニ付キマシテハ御許シヲ得マシテ、馬産課長カラ實狀ヲ申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス、此場合ニ牧野ニ付テ御話ガゴザイマシタノデ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、牧野ニ付キマシテハ、所謂限定地ニ付キマシテ、若干ノ牧野ノ集約ノ利用ヲセシメル爲ニ、補助金ヲ今マデ豫算ニ計上シテ出シテ居リマスガ、昭和四年度カラ其計畫ヲ廣ク致シマシテ、牧野ノ改良ヲ圖ル爲ニ豫算ヲ要求イタシテ居リマス、財政ノ都合上四年度ニ

於テハ、唯五年度以降ノ計畫ノ一端ヲ示スニ過ギナイ、準備的ノ職員ノ費用ダケデゴザイマスガ、五年度カラ約十六萬圓ノ經費ヲ以テマシテ、牧野ノ改良ニ付テノ費用ヲ支出イタシマシテ、集約ノ利用ヲ進メテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、其他ノ馬産上ノ見地ニ付キマシテハ、横屋馬産課長カラ發言ヲ御許シヲ願ヒタウゴザイマス

○説明員(横屋潤君) 今、西尾子爵カラシマシテ、我國ニ於テ今競馬法案ノ改正中ニ「サラブレッド」ニ偏重シテ居ルノヲ「アラブ」或ハ「アングロアラブ」競走ヲ施行スル際ニ、其馬匹ノ有無如何、斯ウ云フヤウナ御尋ダラウト思ヒマスガ、如何デス

○子爵西尾忠方君 御改良ニナルト云フコトハ政府ノ御方針デ承ッテ居リマスガ、私ハ能クハ存ジマセヌガ、先刻陸軍當局ノ御説明ノ通り「サラブレッド」ハ日本デ生産シテモ其結果ガ非常ニムヅカシイ、然ラバ此「アングロアラブ」「アラブ」ノ如キモノモ亦同ジヤウナ弊ニ陥ルノデハナイカト申スノハ、豫テカラ陸軍デ日本ノ馬ハ非常ニ小サイノト云フヤウナコトヲ承ッタヤウニ記憶イタシテ居リマスガ、「アラブ」ト云フモノハ大變小サイヤウニモ思ッテ居リマスガ、サウ云フヤウナ點カラ致シマシテ、ドウ云フヤウナ御確信デアリマスガ、其點ヲ承リタイト

思、テ居リマス

○説明員(横屋潤君) 先程濱田中佐カラ御話モアリマシタ「サラブレッド」ヨリ「アングロアラブ」ノ方ガ非常ニ軍馬トシテハ宜イ、是ハ無論産馬方針概要ニ於キマシテ、陸軍並ニ農林當局ニ於キマシテ熟議ノ結果、無論「アングロアラブ」型ヲ以テスル、斯ウ云フコトニナッテ居リマシテ、是ハ今後能力檢定ノ後ニ於テ或ハ又色々ノ御議論ガアルカモ知レマセヌケレドモ、現在ニ於キマシテハソレニ付テハ何等懸念モ……我々改良スル立場カラ見マシテモ懸念ハ持ッテ居リマセヌ、話ノ順序ト致シマシテ我國ニ於ケル所ノ少クトモ百五十万頭ヲ支持スル爲ニハ、其供用方針ガ示ス所ニ於キマシテハ、種馬ノ總數六千頭ノ必要ガアリマス、之ヲ分ケテ申シマス云フト、輕種系ノ種牡馬「サラブレッド」「アラブ」「アングロアラブ」「ギドラン」是等ノモノガ九百頭、詰リ十パーセント乃至十五パーセント、中間種系統ノモノ、詰リ乗用馬、輕種馬ノモノガ四千八百頭、七十五乃至八十五パーセント、重種ノ系統ノモノガ三百頭、五パーセント、是ダケノ數ガ種馬トシテ必要ヲ感ジテ居ルノデアリマス、然ルニ其前年ノ、昭和三年度末ノ統計ハゴザイマセヌガ、昭和二年未現在ニ於ケル所ノ我國ノ種馬頭數ヲ見マスト、種馬頭數ニ於テ五千二百八十四頭、

其中國有馬ガ二千三百三十四頭、國有ノ貸付ガ四百六十九頭、民有ガ三千五百八十一頭、斯ウ云フ數字ニナッテ居リマシテ、此五千二百八十四頭ノ種牡馬ノ中ニ於キマシテ、輕種系種牡馬「サラブレッド」「アラブ」「アングロアラブ」「ギドラン」ノ數ヲ見マスト、總計ニ於キマシテ四百五頭ゴザイマス、其四百五頭ノ中ニ今問題ニナッテ居リマス「サラブレッド」ノ種牡馬ガ幾頭アルカト申上ゲマス云フト、外國産ニ於テ四十五頭、內國産ニ於テ百五十八頭ノ種牡馬ガゴザイマシテ、「サラブレッド」以外ノ輕種系種牡馬ハ「アラブ」ニ於キマシテ内外國産三十二頭、「アングロアラブ」ハ同ジク外國産內國産ヲ合セマシテ、百二十四頭、「ギドラン」系統ノモノ「ギドラン」種牡馬ガ外國産內國産デ九十一頭ゴザイマシテ、詰リ「サラブレッド」ヲ除キマシタ輕乘馬ノ種牡馬ガ二百四十七頭、斯ウ云フコトニナリマス、即チ「サラブレッド」百五十八頭、並ニ其他ノ輕乘馬種牡馬、二百四十七頭ヲ加ヘマシテ、四百五頭デゴザイマス、尙ホ此際御承知ノ如ク三十七八年ノ戰役ノ結果、遼洲産洋種ガ數千頭入リマシテ、其牝馬カラ生レマシタモノノ馬ノ呼稱法デ申上ゲマスル內國産洋種ト云フモノガ、津浦迄生産地ニハ見エマスガ、其數ガ尙ホ千五百九十三頭ゴザイマス、其中ニ「サラブレッド」系統ニ屬

スルモノガ五百二頭、「アラブ」「アングロアラブ」「ギドラン」ノ系統ニ屬スルモノガ四百六十八頭アルノデゴザイマス、此種牡馬ヲ以テマシテ大正十一年ノ四十六議會ニ競馬法ガ制定セラレマシテ、其後ニ於キマスル大正十二年ノ秋ヨリ競馬ガ開始セラレマシテ、其後十三年十四年昭和元年、二年ヲ經テ三年即チ昨年迄ニ於キマスル五箇年間ニ於ケル種付牝馬頭數並ニ產駒數ト、既往大正七年カラ十一年ニ於ケル所ノ五箇年間ノ馬蕃殖ノ消長ヲ茲ニ申上ゲテ見タイト思イマスガ、國有馬ニ於キマシテハ三千五百二十五頭大正七年ニ於キマシテ三千五百二十九頭ノ種付ガアリマシタガ、是ハ二回許リノ行政整理ノ結果、種馬、國有馬ノ千五百頭ヲ、現在ニ於キマシテハ千二百十五頭、其種馬ヲ養育シテ居マシタ、詰リ大正七年頃ニ於キマシテハ、十五ノ種馬所、及三種馬牧場ニ於キマシテ千五百頭養育スルコトニナッテ居リマシタガ、現在十二ノ種馬所デ千二百十五頭ノ種牡馬ヲ養育シマシタ次第デアリマシテ、昭和三年ニ於キマシテハ三千四十七頭ノ種付ガアリマシタ、貸下ニ於キマシテモ、國有馬ノ貸付ニ於キマシテモ「サラブレッド」系統ノ種付ハ殆ド國有馬ニ於テハ變リハアリマセヌガ、宮内省有馬ニ於キマシテハ、些少……大正七年ノ百三頭、昨年ニ於キマシテ百六十六頭ノ些少ノ

増加ノ關係モアリマスガ、是モ全國的ノ「サラブレッド」ノ蕃殖ト云フ見地カラ考ヘマスト、國有並ニ宮内省有ノ種牡馬ノ種付成績ト云フモノハ關係ハアリマセヌ、唯民有種牡馬ヲ見マスト云フト、大正七年ニ於キマシテハ、種馬ノ數ハ四十五頭、種付數ガ千九百七十二頭、產駒數ガ千六頭ト云フコトニナッテ居リマスガ、其間些少ノ徑路ヲ辿リマシテ、昭和三年ニ於キマシテハ、二千九百三十二頭、約千頭許リノ増加ヲシタノデス、詰リ競馬ノ開始サレマシタ十二年ニ於キマシテハ、千六百五十二頭デアリマシタガ、十三年ニ於テハ千七百九頭、十四年ニ千八百五十頭、十五年、昭和元年ニハ二千二百六十一頭、昭和二年ニ於テハ二千四百四十八頭、昨年ニ於キマシテ、先程申シマシタ二千九百三十二頭ト云フ、非常ナ詰リ「サラブレッド」ノ民有種牡馬種付數ノ増加ト云フ事ニ付テハ認メ得ルノデアリマス、其外ノ「サラブレッド」以外ノ輕乘馬ノ「アラブ」「アングロアラブ」「ギドラン」ト細カイ數字モ十箇年ニ付テ考ヘマシタガ、其結論トシテ申上ゲマス云フト「アラブ」「アングロアラブ」「ギドラン」ト云フモノハ、「サラブレッド」トシテ昭和三年ノ種付ガ全體デ、六千三百六頭ト云フモノニナリマス、其他ニ於ケル所ノ輕乘馬ハ一万一千二百二十七頭、斯ウ云フコトニナッテ居リマシテ、約倍程ノ

「サラブレッド」ヨリハ「アングロアラブ」ギドラシノ方面ノ方ガ其生産能力、即チ生産數ハ多イノデゴザイマス、併シ其殖エ方ヲ見マスト云フト餘程「サラブレッド」ノ生産ト云フモノハ此競馬ノ關係上、非常ニ民有種牡馬ノ產駒ニ於テ多クナル、斯ウ云フ様ナ傾向ノアルノハ、先程濱田中佐ノ御話ノ事ニ付テ裏書スルヤウナ結果ニナリマス、私ガ申上デマス迄モナク「サラブレッド」ノ必要ト云フコトニ付キマシテハ、原原種ノ意味デ「アラブ」ノ必要ガアル如ク「サラブレッド」ノ最も必要ナルコトハ、先程西尾子爵ノ御話ノ如クアリマシテ、遺傳力ハ非常ニ確實デアリマシテ、殆ド我國ヲ問ハズ、世界各國ノ馬匹ヲ改良セムトスル所ニ「アラブ」或ハ「サラブレッド」ヲ供用シナイ者ハアリマセヌ、我國ニ於キマシテモ、無論此「サラブレッド」系統ノ乘馬ノ必要モ無論アルダラウト思ヒマス、又「アングロアラブ」「ギドラシ」モ造ル意味デ「サラブレッド」ノ必要モアルノミナラズ、「サラブレッド」トシマシテハ、輕輓馬產地ニ於ケル重乘馬、並ニ輕輓馬ニ於キマシテモ、其悍性ガ非常ニ鈍クナッテ、詰リ重鈍化シタト申シマスカ、其時ニ直接「サラブレッド」ヲ配合シ「サラブレッド」ノ血液ヲ一滴投ズルカ、或ハ「ノルマンセル」ノ如キ、間接ニ「サラブレッド」ノ血液ノ多イ所ノモノヲ以テ、之ニ配合シテ悍性

ヲ附ケルカト云フコトニ付テハ、無論配合上ノ問題ニナリマスガ、兎ニ角直接間接ヲ問ハズ「サラブレッド」ノ必要ハ無論アルダラウト思ヒマス、尙ホ進ンデ競馬問題ニハ必要ナイ所ノ、十勝秋田或ハ長崎縣南高來郡ノ如キ、重輓馬ヲ作ル時ニ、重鈍化シタル所ハ「サラブレッド」ノ必要ガアルト云フコトハ「サラブレッド」ハ無論必要ガアルニ相違アリマセヌガ、先程濱田中佐ノ御話ノ如ク「サラブレッド」ノ數ガ競馬ニ依テ非常ニ急激ニ増スト云フコトニ付テハ、我國ノ如キ極ク狹少ナル狹イ所ノ地積ヲ持テ、又種々詰リ馬ニ要スル牧野や或ハ採草地ノ問題ニ於テモ、今御話ノアリマシタ如ク食物ノ比較的乏シイ所ニ持ッテ行ッテ、必要程度以上ノ「サラブレッド」ノ蕃殖ヲ計ル必要ハナク、又飼養困難ノ點ニ於キマシテモ、多產スルコトハ避クベキ性質ノモノデヤナイカト私ハ考ヘテ居リマシタ、サウスルト「サラブレッド」ノ數ハ現在ニ於テ先程申上デマシタヤウニ、是ハ殆ド既往十箇年バカリニ於テ、國有馬ガ六十八頭カラ七十一頭、民有馬モ多少此競馬ノ影響ヲ受ケマシテ増シマシタガ、民有馬トノ合計ヲ申セバ百五十八頭ト云フ數字ヲ認メテ居リマスガ、國有馬ノ如ク種馬ノ方面ダケ申シマス、更新率十分ノ一トシマシタナラバ、十箇年ニ於テ全部ノ馬ガ代ッテ行ク、民有種牡馬ニ

於テハ更新率ト云フモノハ八年或ハ七年、飼養管理ガ國ノ馬トハ違フ關係上今少シ早クスル必要ガアルカモ知レマセヌ、種馬トシマシテモ、或ハ蕃殖用馬トシテモ、ソレダケノ増數ハ必要ナイデヤナイカ、既ニ競馬法モ實施サレマシテ、五箇年ヲ經過シマシテ、此際ニ於キマシテ既ニ民有種牡馬ニ於テハ斯ウ云フ傾向ヲ取リツツアル、從テ此際ニ於キマシテ「アラブ」「アングロアラブ」即チ國防上ニ於ケル所要ノ乘馬ノ最も重點ヲ置カレマス所ノ「アラブ」「アングロアラブ」競走ト云フヤウナモノモ、此際加味シタナラバ頗ル結構ダラウト思ヒマス、然ラバ或方ノ御話モアルカモ知レマセヌ、現在ニ於キマシテモ、新冠ノ御料牧場生産ノ「ボニー」「チャペル」ト申シマスカ、兎ニ角現在ノ競馬ニ於テモ「アングロアラブ」ノモノハ這入ッテ居ルデヤナイカ、斯ウ云フコトニナリマスガ、御承知ノ如ク是ハ馬政局ニ制定セラレマシテ、尙ホ現在用ヒテ居リマス所ノ馬ノ呼稱法ノ誤リデゴザイマス、之ヲ如何ニスルヤト云フコトニ付テハ最近亡クナリマシタ丹下前馬政課長トシテモ考ヘラレマシテ、我々ニモ御相談ガアリマシタガ、ドウモ名案ガナイ、苦シンデ居ル狀況デアリマス、今假ニ此處ニ「サラブレッド」ノ牝馬ニ「アラブ」ノ種牡馬ヲ掛ケマシテ、「アングロアラブ」ガ出テ來タ、其馬

ガ牝馬デアリマシテ、現在ノ呼稱法カラ申シマス、ソレニ更ニ「サラブレッド」ノ牡馬ヲ掛ケ、尙ホ「サラブレッド」ヲ掛ケ、五代十代掛ケテモ、內國產「アングロアラブ」ト云フ所ノ呼稱法ハ拔ケナイノデアリマス、從テ此現行競馬ニ於キマシテモ「アングロアラブ」中ニ非常ニ血液ノ「サラブレッド」化シタ所ノ所謂「アングロアラブ」ハ、競走ニ共ニ現在ノ「サラブレッド」ノ生産馬ト驅ケルコトヲ得マスルガ、「アラブ」ト競走スルト云フコトガ假ニ許サレタ時期ニ於キマシテ、今後其「アラブ」「アングロアラブ」競走中ニ於キマシテ、「アラブ」ノ血量ヲ二十五「パーセント」乃至七十五「パーセント」トスルカ、如何様ニ定マルカ知リマセヌガ「アラブ」血量ノ大キイニ從ッテ、詰リ速度ニ於テハ多少ノ遺憾ノ點ガアリマス、又體型ニ付テハ遺憾ノ點ガアルカモ知レマセヌガ、持久力ナリ或ハ粗飼料ニ堪ユルトカ云フヤウナ點ニ於キマス所ノ、詰リ軍馬ニ適合スル所ノ「アングロアラブ」ト云フモノハ、現在ノ競馬ニ於テハ出走ヲシテモ勝利ヲ得ルコトガ出來ルヤウナ狀況デアリマス、特種ノ競走ニ於キマシテハ乘馬ニ於キマシテハ「アングロアラブ」競走ヲ先程濱田中佐ガ申サレタヤウニ、加味シテ其種牡馬並ニ蕃殖馬ヲ作ルコトハ必要ナルコトカト思ヒマス、尙ホ最後ノ御尋ノ如ク「アラブ」ト

云フモノハ非常ニ小サイデヤナイカ、ソレ
デ軍馬トシテ可ナリ大格馬ノ要求ヲセラレ
テ居ルニ、サウ云フモノヲ種ニ用ヒ或ハ蕃
殖牡馬トシテ用ヒタナラバ、「ボニー」類似
ノモノガ出來ルトカ、速度モ劣リハシナイ
カ、斯ウ云フ御尋デゴザイマシタガ、其點
ニ於キマシテハ、一昨年ニ於キマシテ種馬
育成所長ノ佐原大佐ガ「シリヤ」方面ニ、昨
年ニ於テハ海老原技師並ニ岡村技師ガ印度
方面ノ購買ヲシ、尙陸軍ニ於テハ清浦中尉
モ入ラッシャイマシタ印度方面ニハ、尙ホ
元興羽牧場ニ居リマシタ久保田君モ御承
知ノ如ク、東京乘馬俱樂部ノ乘馬ヲ買ヒニ
參リマシタ、其結果ニ依ッテ見マスルト云フ
ト、原產地ノ「アラビヤ」ニ於ケル優等馬ノ
出來マスル「ネデヘデヤス」王國ト申シマス
ルカ、其方面ノ「アラブ」ニハ比較的小サ
イ、詰リ埃及「カイロ」ヨリ、夏ニハ「アレ
キサンドリヤ」デ暮スサウデアリマスガ、
其方面ノ「アラブ」競走ノ目的一出テ居リマ
スル馬ハ、先程西尾子爵ノ申サレル如ク非
常ニ小サイ、體尺ニ於テハ四尺五寸、管圍
尺ニ於テハ五寸五分、是等ノモノガ我國ノ
馬匹改良ニ必要ガアルヤ否ヤト云フヤウナ
コトニ付キマシテハ、自分トシテハ餘程マ
ダ考慮シナケレバナラヌ問題ト考ヘテ居リ
マス、併シ北部ニ於キマシテ「チダリス・
ユーフラット」ノ流域即チ「メソポタミヤ」

ノ馬ハ印度ノ孟買方面ニ移出セラレマス
ガ、即チ東京乘馬俱樂部ノ御買ヒニナリマ
シタ馬、又我々ノ方ニモ種牡馬トシテ昨年
三頭バカリ買ヒマシタ馬アタリヲ見マスル
ト、體尺ニ於テモ四尺八寸、管圍ニ於テモ
六寸一二分モゴザイマシテ、「アラブ」トシ
テ非常ニ體型上ニ於キマシテハ、非常ニ宜
イカノヤウニ考ヘテ居リマス、唯詰リ「ア
ラブ」ノ非常ナ悍性ヲ帶ビ氣品モ上ガルト
云フ點ニ於キマシテハ、「シリヤ」方面ノヨ
リハ劣リマス、此點ニ於テハ十分今後「アラ
ブ」ノ輸入ト云フコトニ付キマシテ考究ヲ
要シマス、尙ホ「アラブ」ノ毛色ハ軍馬管理
規則ニ於テハ、其他異毛色即チ葦毛モ御認
メ下サイマシタノデアリマスルガ、現在ニ於
ケル日高種馬牧場ノ「ギドラン」ノ如キ、折
角栗毛デ今マデヤッタモノヲ、他ノ異毛色即
チ葦毛ノモノモ入レテハドウ云フモノデア
ラウカ、其點ニ於テハ深甚ニ考慮シテ見マ
シテ、出來得ルナラバ栗毛、セメテ鹿毛ノ
「アラブ」ノ種馬ヲ得タイト思ッテ居リマス
ガ、現在ニ於キマシテハ……昨年、一昨年
ノ購馬ノ結果カラ申シマススト云フト、矢張
リ葦毛ニ最も優秀馬ガアル、ドウモ他ノ栗
毛、鹿毛ニ於テハ適當ナ馬ガナイヤウニ只
今ハ考ヘテ居リマス
○委員長(侯爵四條隆愛君) 如何デゴザイ
マセウカ、マダ御質問モ御アリガラウト思

ヒマスガ、今日ハ此程度デ止メテ置イテ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵四條隆愛君) 又時日ハ追ッ

テ決メルコトニ致シマス、散會致シマス

午後零時三十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵四條 隆愛君

副委員長 子爵西尾 忠方君

委員

子爵裏松 友光君

男爵小原 睦吉君

赤池 濃君

大津淳一郎君

板谷 宮吉君

鶴澤 總明君

國務大臣

農林大臣 山本悌二郎君

政府委員

陸軍少將 杉山 元君

農林政務次官 東 武君

農林省畜産局長 戸田 保忠君

農林書記官 井野 碩哉君

説明員

陸軍騎兵中佐 濱田 陽兒君

農林技師 横尾 潤君